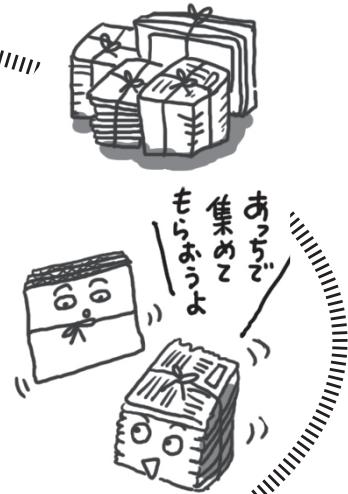


資源回収システムを考える



集団回収の全国動向と
先進事例を踏まえて



2013年10月12日(土)
13:30～16:30

現在、古紙や古布、容器包装などの資源の回収システムとしては、行政回収を主体とし、それと並行して集団回収も実施しているのが一般的ですが、行政回収の財政負担の重さや、2つのルートによる二重回収の無駄が指摘され、行政回収から集団回収への移行の動きも出ています。

そこで、今回の市民ごみ大学では、集団回収の全国動向や先進事例を踏まえ、また、事業者からのアドバイスを参考にして、資源回収コストの低減と資源化促進の観点から、どのような資源回収システムが望ましいかを考えてみたいと思います。

1 テキスト『集団回収マニュアル』から
～協働型集団回収とは？ その可能性～

スチール缶リサイクル協会事務局課長
細田佳嗣さん

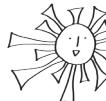
2 中野区における古紙の集団回収への一元化
～町会連合会が主体となって推進～

一般社団法人社会資源再生機構 理事長
横倉正志さん

3 地域の実情に応じた
資源回収システムについて

社団法人東京都リサイクル事業協会 常務理事
佐々木義春さん

真如苑助成金事業



NPO法人
ごみ・環境ビジョン 21

〒185-0012
国分寺市本町2-19-9-7
TEL&FAX 042-328-6621 月・金（除く祝日）13～17時
gomikan@mtf.biglobe.ne.jp
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/>

申込み不要。
直接会場へおいでください。

参加費（資料代）
会員・学生：500円
一般：1000円

会場

国分寺労政会館

■3階・第3会議室

JR・西武線国分寺駅南口徒歩5分

